

令和4年度（令和3年度事業）

教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価に関する報告書

令和4年10月

常陸太田市教育委員会

# 目 次

I. 教育委員会施策の点検・評価の概要	1
II. 施策別点検・評価	
教育委員会施策の点検・評価書（令和3年度事業）	5
(施策名)	
1 地域資源に磨きをかけた観光の振興	5
2 子育てへの支援	6
3 豊かな心の育成	8
4 魅力ある学校づくり	10
5 多様な学習機会の支援	12
6 スポーツ・レクリエーション活動への支援	14
7 結婚・定住の推進	15
8 市民の地域活動への支援	16
9 犯罪のないまちづくり	17
参考 教育委員会の活動状況	18

教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価に関する報告書

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、常陸太田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する書類を別紙のとおり提出する。

令和4年12月1日

# 令和4年度教育委員会施策の点検・評価(令和3年度事業)の概要

## 1. 趣旨

- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、市教育委員会が、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行う。

## 2. 点検・評価の目的

- 教育委員会における主要な施策や事務事業について点検・評価を行い、課題や取組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。
- 点検・評価の結果について報告書を作成し議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし市民に信頼される教育行政を推進する。

## 3. 点検・評価の対象

- 令和3年度施策を点検・評価する。
  - ・常陸太田市第6次総合計画前期基本計画における教育委員会所管の9施策

## 4. 点検・評価の方法

- 施策を構成する主な事務事業の評価を基に、施策の目標達成に向けた取組状況と成果の点検・評価を実施する。
- 学識経験者による教育行政評価委員が、施策評価や施策の改善点等について審議する。

### (1) 事務事業の評価

- 施策の目標達成のために行った主な事務事業について、その成果や課題を精査検証し評価する。
- 評価については、「A 期待した成果があった」、「B 一定の成果があった」及び「C 見直しや改善が必要」の3段階で評価する。

### (2) 施策の総合評価

- 事務事業の評価結果を踏まえ、施策全体の総合的な成果を評価する。
- 評価については、「A 期待した成果があった」、「B 一定の成果があった」及び「C 見直しや改善が必要」の3段階で評価する。
- 今後の方向性を明確にするため、「課題と今後の方向」を記載する。

### (3) 学識経験者の知見の活用

○点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する教育行政評価委員の審議を行う。

○教育行政評価委員（敬称略）※

分野	氏名	所属等
学校教育	岡部 昌見	元学校長
社会教育	早川 忠雄	社会教育委員会議長
保護者関係	永山 由紀恵	市女性ネットワーク委員会委員長（金砂郷小）

（参考：令和3年度）

分野	氏名	所属等
学校教育	岡部 昌見	元学校長
社会教育	早川 忠雄	社会教育委員会議長
保護者関係	清水 悦子	市女性ネットワーク委員会委員長（誉田小）

## 5. 点検・評価結果の公表等

### (1) 議会への提出

○点検・評価の結果について報告書を作成し、市議会に提出する。

### (2) 市民への公表

○報告書を市ホームページにより公表する。

## 6. 点検・評価結果の概要（令和4年度（令和3年度事業））

○主な事務事業の評価結果を踏まえ、施策全体の総合的な成果を、「A 期待した成果があった」、「B 一定の成果があった」及び「C 見直しや改善が必要」の三段階で評価した。

### 総合計画における教育委員会所管の9施策（令和4年度（令和3年度事業））

	基本施策	施策の 総合評価	事 務 事 業	事務事業 評価	
				所管課	委員会
1	地域資源に磨き をかけた観光の 振興 (3事業)	B	1 指定文化財整備(文)	B	B
			2 市内遺跡調査(文)	B	B
			3 文化財保護(文)	B	A
2	子育てへの支援 (6事業)	A	1 幼稚園保育料の無料化(教)	A	A
			2 給食費無償化及び一部補助(教)	A	A
			3 図書館子育て支援ブックスタート(図)	A	A
			4 図書館子育て支援あかちゃんタイム、 ママ・プレママサロン(図)	B	A
			5 市立幼稚園・小中学校給食費の軽減(給)	A	A
			6 放課後子ども教室(生)	B	B
3	豊かな心の育成 (5事業)	A	1 学校図書整備(小学校・中学校)(教)	A	A
			2 みんなにすすめたい一冊の本推進事業 (図)	A	A
			3 あたたかな人づくり推進事業(指)	A	A
			4 小中学校と図書館の連携(図)	B	B
			5 人権啓発推進(生)	B	B
4	魅力ある学校づ くり (7事業)	A	1 3歳児クラスTT配置(教)	A	A
			2 市立幼稚園特別支援指導員配置(教)	A	A
			3 小学校TT特別配置(指)	A	A
			4 小学区特別支援教育指導員配置(指)	A	A
			5 学校統廃合(教)	A	A
			6 活力ある学校づくり推進事業 (小学校・中学校)(指)	A	A
			7 学校給食における地場産物利用促進 (給)	B	B

5	多様な学習機会の支援 (3事業)	B	1 公民館地域活性化推進 (生)	B	B
			2 地域資源活用講座事業 (生)	B	B
			3 公民館整備 (生)	B	B
6	スポーツ・レクリエーション活動への支援 (3事業)	A	1 ジュニア競技能力向上事業 (ス)	A	A
			2 スポーツ施設整備(新総合体育館整備事業) (ス)	A	A
			3 スポーツ施設整備 (運動公園整備事業) (ス)	B	A
7	結婚・定住の推進 (1事業)	B	1 移住・定住者への奨学資金返還助成制度 (教)	B	B
8	市民の地域活動への支援 (1事業)	B	1 エコミュージアム活動の推進 (文)	B	B
9	犯罪のないまちづくり (1事業)	B	1 子どもの安全対策強化 (教)	B	B

計30事業

## 7. 施策別点検・評価

○別紙「教育委員会施策の点検・評価書（令和3年度事業）」による。

## 8. スケジュール

- 7月 1日 各課等へ「点検・評価書」原案作成を依頼
- ↓
- 8月 3日 各課等により「点検・評価書」原案の取りまとめ
- ↓
- 評価委員会提出用「点検・評価書」の作成
- ↓
- 10月14日 教育行政評価委員会の開催（外部評価）
- ↓
- 「点検・評価に関する報告書」の作成
- ↓
- 10月28日 教育委員会定例会へ報告
- ↓
- 12月 1日 市議会定例会に提出

## 教育委員会施策の点検・評価書(令和3年度事業)

担当課 文化課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	安心して働くことのできる仕事の場づくり
	政策	産業振興と新たな雇用創出による仕事の場づくり
	基本施策	地域資源に磨きをかけた観光の振興
		(1)地域資源を活かした誘客促進 (2)魅力ある観光地域づくり
施策の概要	・地域資源や地域特性を活用したイベントの開催。 ・自然、歴史、観光資源の発掘、活用による地域の魅力向上。	

施策に対する 事務事業の 概要・成果・ 評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	①指定文化財整備	(文化財の保護保存) ・指定文化財等管理、修繕等に要する経費に補助金を交付し、文化財の保護を推進する。 ・文化財の巡視、所有者に対し助言を行う。	(文化財所有者に対し補助金の交付) ・国指定文化財 佐竹寺(継続)防災設備保守点検 ・県指定無形文化財 西金砂神社小祭礼の町田火消行列の衣装更新に対する補助金交付は、新型コロナウイルスの影響により実施されなかつたことにより、不交付。 (文化財の巡視、所有者に対し助言を行う) ・指定文化財について文化財協力委員、樹木医と協力し巡視(所有者に対し軽微な助言6件)を行った。	B	B
	②市内遺跡調査	(梵天山古墳周辺の保存活用) ・梵天山古墳周辺史跡の国指定申請に向け、調査を行う。 (太田城跡地調査) ・R2年に実施した発掘調査の結果を報告書にまとめる。	(梵天山古墳周辺の保存活用) ・梵天山古墳の規模・構造・年代の確認のため、試掘調査(14ヶ所)を行った。 ・重要遺跡調査委員会開催(2回)。 ・古墳築造の年代を考えるうえで竪穴状遺構は確認されたが、時代(古墳の築造年代)の確定や墳丘構造解明に至らなかつた。 ・現地見学会開催(5日間)見学者数:約100人。 (太田城跡地調査) ・発掘調査の結果を調査報告にまとめ、報告書300部を作製し、文化関係機関(図書館)等に配付した。	B	B
	③文化財保護	(指定文化財集中曝涼) ・指定文化財の保護と活用を図るため、集中曝涼として一般公開を開催する。	・新型コロナウイルスの影響により会場開催を中止としたが、代わりに12箇所の文化財解説動画の配信を行い、PRに努めた。	B	A

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	R1	R2	R3	担当課 評価	委員会 評価
	指定文化財等保存整備補助金交付件数(件)	4	2	1	B	B
	集中曝涼来訪者数(人) ※[ ]内は、動画視聴者数	3,431	[973]	[5,104]	B	A

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価	○		
委員会評価	○		

課題と 今後の方向	【指定文化財整備・市内遺跡調査・文化財保護】 引き続き市民に文化財の価値や重要性を、理解していただくための意識の醸成をさらに努めていく。
--------------	---

教育行政 評価委員 による意見	・コロナ禍においても文化財保護のため、補助金交付や巡視事業の実施等は今後も続けていただきたい。不交付事業については、コロナ禍による未実施事業であるので、致し方ない。 ・国指定申請に向け調査を行った梵天山古墳周辺史跡が解明に至らなかつたのは残念だが、太田城跡地調査の報告書が作成され、関係機関に配布されたことは、成果として良かった。 ・コロナ禍で現地開催が難しい中、文化財解説動画を作成し、HPで配信を行うなど担当課の努力がうかがえる。
-----------------------	---

## 教育委員会施策の点検・評価書(令和3年度事業)

担当課	教育総務課
	図書館
	学校給食センター
	生涯学習課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	安心して子育てのできる環境づくり
	基本施策	子育てへの支援
		(1)子育て家庭への支援
施策の概要	(2)地域ぐるみの子育て支援	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て家庭への経済的支援を充実。</li> <li>・子育てに関する学習機会や情報提供の充実を図るとともに、交流の場の確保。</li> <li>・すべての子どもが放課後に安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるような居場所の確保・充実。</li> </ul>

施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
		①幼稚園保育料の無償化	市内在住の幼稚園児(1号認定者)に対し、保育料の無償化を実施。	市内在住の幼稚園児(1号認定者)に対し、保育料の無償化を実施。 各家庭の経済的負担の軽減が図られた。	A
	②給食費無償化及び一部補助	市内在住の幼稚園児(1号認定者)が市外の幼稚園に通園する場合に対し、給食費の無償化を実施。	市内在住の幼稚園児(1号認定者)が市外の幼稚園に通園する場合に対し、給食費の無償化を実施。 各家庭の経済的負担の軽減が図られた。	A	A
	③図書館子育て支援(ブックスタート)	健康づくり推進課の乳児相談会場に出向いて実施する。乳児健診対象者にブックスタートバック(トートバッグ、絵本2冊)を贈呈し、絵本を介したあかちゃんとのふれあい方法についてアドバイスを行う。(対象者:令和2年11月から令和3年10月生まれの乳児)	令和3年度対象者(191名)、受領者(182名 内訳・実施日160名 後日19名 転入3名)、未受領者(9名)。乳児健診相談日に来なかった方には、個別に通知による連絡を行った。  まだ言葉を話さないあかちゃんが絵本に反応することについて保護者が気づかせることができた。また、家庭において親子が本を介したふれあいを実践・継続していただくことで、あかちゃんが言葉に対する興味をもち本に親しむ習慣に繋がった。	A	A
	④図書館子育て支援(あかちゃんタイム、ママ・プレママサロン)	保護者があかちゃんの泣き声等に気兼ねなく図書館を利用できる時間帯(あかちゃんタイム)を設けている。(毎月第1・3木曜日10時30分～正午) あかちゃんタイムの時間帯に併せ、ママ・プレママサロンとして図書館ボランティアによる読み聞かせ、妊娠・出産・育児等の本の紹介、ママさん同士の情報交換を行っている。ママ・プレママサロンの一環として、子育て親子を対象にワークショップを行っている。	あかちゃんタイム実施により、親子で図書館を訪れやすい環境をつくることできた。 感染症対策を行った上で19回実施し、156名の参加があった。  図書館での楽しい体験が保護者・子どもの読書への関心や図書館利用に繋がった。 (過去の実績R1 23回 405名、R2 1回 18名)	B	A
	⑤市立幼稚園・小中学校給食費の軽減	市立幼稚園・こども園の園児及び小学校の児童・中学校の生徒に対する給食費を1/2に減額及び市立幼稚園・こども園の市内在住園児は無償。	給食費の減額及び無償により、子育て家庭への経済的支援を行い、子育て世帯から感謝の声をいただいている。引続き子育て世帯への経済的支援が図られるよう努めていく。	A	A

⑥放課後子ども教室	・小学校低学年生の放課後の活動場所として、ボランティアが子どもたちの安全を見守りながら一緒に活動し、子供たちが安心して自由に「学び」「体験」「交流」「遊び」ができる環境をつくる。	・市内全小学校区で実施 7小学校区・・・週1回、4小学校区・・・週2回、1小学校区・・・週3回 ※実施日数506日、参加児童数247人 サポーター登録人数102人 ・新型コロナウイルス感染症対策による9月の休校以外は感染症対策(マスクの着用、手洗い、活動後の消毒等)を徹底し通常通り実施することが出来た。 ・サポーターとの交流により児童が放課後の一時を生き生きと過ごす事が出来ている。 ・加入している児童の保護者からは、「サポーターさんに宿題等勉強を見てもらい、助かっている。」等の声が聞かれる。 ・次年度の学校統合(峰山小・金砂郷小)に向け学校及びサポーターとの調整を行った。	B	B
-----------	---	--	---	---

施策の成果を示す主な指標	指標名(単位)	R1	R2	R3	担当課評価	委員会評価
	幼稚園(1号)保育料無償化 認定者数(人)	196	168	148	A	A
	幼稚園(1号)給食費無償化 認定者数(人)	196	168	148	A	A
	ブックスタートパック贈呈率(%)	90	85	95	A	A
	ママ・プレママサロン参加者数(人)	405	18	156	B	A
	学校給食費減額対象者数(人)	3,126	3,149	3,037	A	A
	放課後児童クラブとの連携数(箇所)	12	12	12	B	B
	サポーターの数(人)	135	108	102	B	B

施策の総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価	○		
委員会評価	○		

課題と今後の方向	<p>【幼稚園(1号)保育料・給食費無償化】 令和元年度から、国の施策に基づき幼稚園児(3歳児以降)の保育料を無償化としており、子育て世代の経済的負担の軽減を図る施策として有効に機能していると考えられる。今後も継続していく必要がある。</p> <p>【図書館子育て支援】 ブックスタートは、絵本を介したあかちゃんとのふれあいを持つ機会となることと、幼少期から本に親しむ習慣を身につけるため今後も継続して実施する。</p> <p>【図書館子育て支援】 ①あかちゃんタイムは、継続して実施する。 ②ママ・プレママサロン及びワークショップは、感染症対策を行ったうえで実施する。</p> <p>【市立幼稚園・小中学校給食費の軽減】 令和2年4月から市内在住の市立幼稚園とこども園の園児の給食費を無償とした。引き続き子育て世帯への経済的支援が図られるよう努めるとともに、保護者に対し負担軽減の趣旨を伝えていく。</p> <p>【放課後子ども教室】 ①放課後児童クラブと連携し、本事業の充実を図る。 ②サポーターの登録人数が年々減少傾向にあり、また、高齢化も課題となっていることから、現在のサポーターに対し引き続き登録をお願いすることはもとより、新たなサポーターの発掘のため地域の方々への声かけをお願いしているが、事業が平日実施の為、手が空いている方が少なく確保が難しい状況下にある。今後も市ホームページ等を活用し、広くお知らせをし、サポーターの確保に努める。</p>
----------	--

教育行政評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の施策に基づき実施しているものではあるが、今後も子育て世代の経済負担軽減を図る施策として継続していただきたい。</li> <li>・細やかな気遣い・対応がされているので、今後も、対象者への周知をしていただき、参加者増につなげていただきたい。</li> <li>・今後も子育て世代の経済負担軽減を図る施策として継続していただきたい。</li> <li>・サポーター登録人数確保が大変なことは理解しているが、児童のため人数確保をお願いします。</li> </ul>
---------------	---

## 教育委員会施策の点検・評価書(令和3年度事業)

担当課	教育総務課
	指導室
	図書館
	生涯学習課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	郷土を愛し未来を拓くひとづくり
	基本施策	豊かな心の育成
		(1)感性や創造力向上推進 (2)人権や福祉に関する活動の機会を通して、思いやりのある心や命を大切に作る心の育成。
施策の概要	・学校図書 of 充実や図書館と学校図書館のネットワーク化を図り、子どもたちの読書活動を推進。	

施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
		①学校図書整備(小学校・中学校)	文部科学省が設定する学校図書館の図書標準冊数(学級数により異なる)を達成するため、計画的に図書整備を行う。	図書標準冊数は、平成24年度より基準を満たしている。 図書購入費の継続的な確保により、経年劣化した図書の廃棄や新規図書の購入など、定期的な入替えが実現できている。	A
②みんなにすすめたい一冊の本推進事業		小学生は年間50冊、中学生は年間30冊以上の本を読んだ児童生徒に賞状の授与を行い、一人一人の読書活動の質的・量的な充実を図る。	数値目標を掲げ、学校図書館の新刊図書の展示・掲示の工夫やブックトークの開催等による啓発活動が展開された。また、読書を通して、心の教育の推進が図られた。 ○みんなにすすめたい一冊の本事業 ・小学校(50冊以上)…95.5% ・中学校(30冊以上)…32.4%	B	B
③あたたかな人づくり推進事業		規範意識の醸成と安心して学べる学校、学級づくりの推進	QUアンケートの活用に係る研修会の実施や年2回実施したQUアンケートの結果分析により、児童生徒一人一人に対する理解が深まり、学級経営の点検及び充実に役立てることができた。	A	A
		学校全体で取り組む道徳教育、人権教育の充実	市教育大綱の基本テーマである「夢育」を教育の根幹に据え、各学校で道徳教育や人権教育を推進することができた。特に、道徳の教科化により道徳性の育成の重点化が図られた。	A	A
	親子ともみがき活動の展開による家庭教育の充実	親子ともみがき活動を家庭・地域との連携による教育効果の向上の機会と捉え、お知らせを配付し、親子ともみがき活動カードを活用して家庭内のルールづくりやお弁当づくり等家庭の協力を得ながら推進が図られた。	B	B	
	④小・中学校と図書館の連携	小・中学校読書用図書や授業教材図書の団体貸し出し・校外学習・職場体験・ブックトーク・出前講座の実施	各学校の要望に応え、読書用図書を教室に配置するとともに、教材用図書を提供し、教育の充実に努めた。 団体貸出 3,718冊(全小中学校活用の合計) 校外学習の図書館受入 6校 ブックトーク 13回(2校8クラス及び1図書委員会 2回実施校あり)	B	B

	⑤人権啓発推進	・人権について関心を高めるために、毎年人権週間に合わせて「ハートフルフェスタひたちおた」を開催している。	・令和3年度は前年度同様に新型コロナウイルス感染症対策として例年実施している講演会を中止とし、人権を担当する生涯学習課と社会福祉課の連携のもと、生涯学習センターホールに大型のテレビを設置し人権に関するDVDを放映、また、来所者に啓発グッズの配布を行い多くの市民に対し啓発を行う事が出来た。 また、県が主催する研修会への参加等により、人権教育を学ぶことができた。	B	B
--	---------	--	---	---	---

施策の成果を示す 主な指標	指標名(単位)	R1	R2	R3	担当課 評価	委員会 評価
	学校図書館図書標準充足率(小・中学校平均)	142%	145%	149%	A	A
	小学生(4・5・6年)年間で50冊本を読んだ児童率	92%	90%	96%	A	A
	中学生(1・2・3年)年間で30冊本を読んだ生徒率	31%	38%	32%	B	B
	「学校が楽しい」と答える児童生徒の割合	93%	94%	93%	A	A
	全国学力学習状況調査アンケート「今住んでいる地域の行事に参加していますか」児童生徒割合	67%	コロナ対応で未実施	52%	B	B
	小・中学校への団体貸し出し冊数	5,094冊	4,567冊	3,718冊	B	B
	人権啓発事業(講演会等)への参加人数(人)	184人	236人	133人	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価	○		
委員会評価	○		

課題と 今後の方向	<p>【学校図書整備】 子どもたちの感性や創造力向上を推進する読書活動の拠点となる学校図書の充実を図るため、学校規模及び整理状況に応じた図書整備を今後も定期的に行う必要がある。</p> <p>【みんなにすすめたい一冊の本推進事業】 働き方改革を推進する上で朝の読書活動等の時間を削減する傾向が見られた。図書室の有効活用を含め、読書習慣の確立と家庭での読書を啓発していく必要がある。</p> <p>【あたたかな人づくり推進事業】 ①年々進行する少子化や情報化の傾向を捉えつつ、人間関係の希薄さやコミュニケーション不足等の対人スキル面での教育課題に対応していく必要がある。 ②特色ある学校づくりとして取り組む「ふるさと教育」の充実を図るとともに、心を育む体験的で協働的な学びを積極的に取り入れていく必要がある。</p> <p>【小・中学校と図書館の連携】 図書館で所蔵する図書資料を、読書用図書や教材用図書として活用されるよう、引き続き学校図書司書や教科担当との連携を図る。</p> <p>【人権啓発推進】 ①人権週間(12/4～12/10)にあわせ、「ハートフルフェスタひたちおた」を感染症対策を行いながら継続して実施していく。 ②令和3年度は前年度同様に、新型コロナウイルス感染症対策として例年実施している講演会を中止とし、生涯学習センターホールにおいてDVDの放映・啓発グッズの配布を行ったが、来館者のみへの啓発となっているため、多くの市民への啓発推進を図る必要がある。</p>
--------------	--

教育行政 評価委員 による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高い充足率を例年継続しているので、今後も継続していただきたい。</li> <li>・中学校(30冊以上)における読書率のUPは難しいと思うが、あきらめず呼びかけてほしい。</li> <li>・現在社会的に問題となっている貧困家庭、ヤングケアラー等の家庭の市内の状況の把握と対応を、今後検討していただきたい。</li> <li>・貸出冊数が減少しているが、コロナ禍を考慮すれば成果は出ているので、コロナ禍といえど継続していただきたい。</li> <li>・参加人数が減少しているが、コロナ禍を考慮すれば成果は出ているので、コロナ対策を行い継続していただきたい。</li> </ul>
-----------------------	--

## 教育委員会施策の点検・評価書(令和3年度事業)

担当課	教育総務課
	指導室
	学校給食センター

総合計画 における 位置づけ	基本目標	夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	郷土を愛し未来を拓くひとづくり
	基本施策	魅力ある学校づくり
		(1)特別支援教育の充実
		(2)教育環境の整備・充実
(3)特色ある学校づくりの推進		
施策の概要	(4)食育の推進	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を必要とする幼児、児童・生徒一人一人に応じた適切な指導。</li> <li>・多様なニーズと地域性に配慮した幼稚園、小・中学校の規模・配置の適正化。</li> <li>・各学校において、全国学力・学習状況調査、学力診断のためのテストや体力テスト等の分析をもとにした、活力ある学校づくりを推進。</li> <li>・地産地消による安全な農産物の種類や量の安全確保により、食育を推進。</li> </ul>	

施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	①3歳児クラスTT配置	3歳児11名につきTT講師を1名配置している。担任教諭の補助として園児を指導している。	園児と教諭、保護者との関係構築が図られ、また、園児は集団生活での適応性が確保され、教育上の効果が期待できた。	A	A
	②市立幼稚園特別支援指導員配置	特別支援教育を要する園児について、園長から配置要望を受け、関係機関との協議のうえ配置している。	園児と教諭、保護者との関係構築が図られ、また、園児は集団生活での適応性が確保され、教育上の効果が期待できた。	A	A
	③小学校TT特別配置	児童生徒の学力の実態を踏まえ、一斉指導の中での個別指導や少人数指導を充実させて、学力の向上を図る。	児童生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな学習支援が可能となり、学習意欲の向上や基礎基本の定着に顕著な効果が見られた。	A	A
	④小学校特別支援教育指導員配置	発達障害を含め、特別な配慮を要する児童生徒に対する教育的支援を充実させ、学校生活の安定化を図る。	対象児童生徒に対する適切な個別支援が進められ、児童生徒の落ち着いた学校生活や学習につながり、日々の安全の確保や学習機会の保障につながった。	A	A
	⑤学校統廃合	令和4年4月開校に向け、「峰山中学校区小学校(西小沢小・幸久小・佐竹小)」及び「金砂郷中学校区小学校(金砂郷小・郡戸小・久米小)」の統廃合を進め、令和4年3月に統廃合が完了した。	<p>計画改訂版策定後、対象学校区の保護者や地域住民に対し説明会や懇談会を実施し、その周知を図った。</p> <p>【令和3年度:統合調整会議・専門部会開催回数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「峰山中学校区小学校」統合調整会議 4回</li> <li>・「金砂郷中学校区小学校」統合調整会議 4回</li> </ul>	A	A

⑥活力ある学校づくり推進事業	児童生徒の学力の実態を分析し、学力向上を目的として教職員一人一人の授業力向上を目指す。また、研究組織としての協働体制を確立し、校内の課題研究の推進力と実践力を育む。	〈小学校〉教育目標の具現化とし、各校において研究テーマを設定した授業改善が推進された。特に、小学校においては、学習指導要領に基づく単元型の授業づくりやタブレットの活用が積極的に実践された。	A	A
		〈中学校〉教育目標の具現化とし、各校において研究テーマを設定した授業改善が推進された。特に、研究発表校においては、言語活動としての話し合い活動の充実や効果的なICTの活用が図られた。	A	A
⑦学校給食における地場産物利用促進	地元産米コシヒカリ及び地元産の野菜等を給食食材として使用する。 ・米飯給食の促進 ・米粉パンを月2回程度提供	・地場産物のコシヒカリ米や地元産野菜等の食材を使用することにより、子どもたちが地域との愛着や関心を高め、安全安心な学校給食に活かしている。	B	B

施策の成果を示す主な指標	指標名(単位)	R1	R2	R3	担当課評価	委員会評価
	3歳児TT講師配置人数	2	3	1	A	A
	市立幼稚園特別支援指導員配置人数	12	11	11	A	A
	小学校TT配置学校数	10	10	10	A	A
	小学校特別支援教育指導員の配置人数	19	30	34	A	A
	統合調整会議開催数	—	10	8	A	A
	体力テスト総合評価(A+B)の児童生徒の割合	66%	未実施	62%	A	A
	活力ある学校づくりの学校関係者評価(4段階)	3.9	3.9	3.9	A	A
	「授業がわかる」と答える児童生徒の割合	94%	96%	95%	A	A
	「学校が楽しい」と答える児童生徒の割合	93%	94%	93%	A	A
	地元食材の自給率(青果物等)(%)	47	45	42	B	B

施策の総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価	○		
委員会評価	○		

課題と今後の方向	<p>【3歳児クラスTT配置・市立幼稚園特別支援指導員配置】 初めて幼稚園に入園する園児にとって、個々の面倒を見てもらえるTT講師が配置されることによって、安定した園生活ができています。また、園児の生活の様子(生活習慣・行動・遊び・運動・対人コミュニケーション等)を把握し、必要に応じ特別支援指導員を配置していくとともに、園児の発達段階に応じた対応もさまざまであることから、特別支援指導員等の質の向上を図るための研修の機会を積極的に確保していく必要がある。</p> <p>【小学校TT特別配置】 インクルーシブ教育の推進において、個に応じた指導の必要性が高まっている。今後も全小学校へ1名の配置を要望し、児童の学びの充実を図る。</p> <p>【小学校特別支援教育指導員配置】 発達障害及び特別な配慮を要する児童生徒の割合が大きくなってきている。今後も人材の確保と安定した支援を保障していく必要がある。</p> <p>【学校統廃合】 閉校式及び開校式も無事に終え、新たにスタートした統合校2校について、しばらくはソフト面及びハード面において必要な措置を講じることも検討している。</p> <p>【活力ある学校づくり推進事業】 今日的な課題(9年間の学びを意図した小・中学校の効果的な連携やICT機器の効果的な活用等)を取り入れ、実態に応じた授業改善を図るとともに、各学校にとって参考となる先駆的な研究実践にしていく必要がある。</p> <p>【学校給食における地場産物利用促進】 JA常陸及び地元産食材取扱業者との連携を図り、今後とも地元産の食材を積極的に取り入れていく。地元食材にこだわった特別メニューを提供する「地産地消の日」の回数を増やし、児童生徒の地域への愛着を高めていく。令和2年度より地元産チーズの提供を始めるなど、今後も地場産物を取り入れるよう努めていく。</p>
----------	---

教育行政評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市独自で園児・児童の学びの充実を図るための大変素晴らしい取組だと感じているので、継続していただきたい。</li> <li>・学校の統廃合は無事終えたが、児童や学校のためにもソフト面及びハード面の必要な措置をお願いします。</li> <li>・ICTの活用だけで終わらないよう、大変でも単元型の授業づくり、言語活動としての話し合い活動の充実等を進めてほしい。先生たちには積極的に取り組んでほしい。</li> <li>・地元食材自給率の向上への取り組みをお願いします。</li> </ul>
---------------	---

## 教育委員会施策の点検・評価書(令和3年度事業)

担当課	生涯学習課
	生涯学習センター

総合計画における位置づけ	基本目標	夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	夢と生きがいをもって活躍するひとづくり
	基本施策	多様な学習機会の支援
		(1)生涯学習活動機会の充実
施策の概要	地域人材・地域資源などを活用した学習プログラムやエコミュージアム活動などを通して、地域を知る学習機会の充実に努める。	

施策に対する事務事業の概要・成果・評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課評価	委員会評価
	①公民館地域活性化推進	・地区公民館活動の活性化を図るとともに、公民館職員の研修や講演会を実施。 ・一般教養、家庭教育・健康、女性、青少年、高齢者、スポレク・コミュニティ、趣味の7つの分野に分かれ、バランスのとれた教室・講座等を開催する。	・地域コミュニティの振興やネットワークの強化を図り、「人づくり」「まちづくり」に資するため、市内11の公民館において、86の教室、講座を運営したが、施設の利用制限を行ったことから、開催延回数804回、参加者10,659人とコロナ対策前の1/3程度の利用に留まった。そのような中、利用を制限しながらも一定の成果は得ることが出来た。	B	B
	②地域資源活用講座事業	・地域を知る学習機会の充実はかるため、地域資源(物・人)を活用した歴史講座や自然講座等を開催する。	・4地区の学習センターで、14の講座を開催した。令和3年度も新型コロナウイルス対策を行いながら開催とし、さらに、感染対策による講座の見直しなどを行い、受講者数は1,002人で、昨年(906人)より96人増加した。地域資源を活用した健康に対する意識向上及び地域を知る学習機会の提供となった。	B	B
	③公民館整備	・公民館の利便性の向上を図るため、優先順位を決定して計画的な施設整備を行う。	・施設・設備を整備することにより、地域における社会教育・生涯教育の拠点としての公民館の機能向上が図られた。 ・佐都公民館 内装床張替 ・世矢公民館 内装床張替	B	B

施策の成果を示す主な指標	指標名(単位)	R1	R2	R3	担当課評価	委員会評価
	公民館事業参加者数(人)	31,385	12,808	10,659	B	B
	地域資源活用講座事業(人)	1,746	906	1,002	B	B
	公民館整備事業件数(件)	2	2	2	B	B

施策の総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と今後の方向	【公民館地域活性化推進】 ①世代間交流事業などに取り組むことが困難な地域もあるが、広域的な事業の取り組みや地域間交流など、新たな事業展開への取り組みも見受けられる。 ②令和3年度は前年度同様に新型コロナウイルス感染症対策による施設の利用制限により公民館事業への参加者が激減した。今後はコロナ禍のように施設の利用制限された場合でも参加出来るような事業を検討し、取り入れていく必要がある。 ③地域の特性を活かし、ニーズに合った公民館活動が重要である。今後、新たなコミュニティへの移行が推進されていくことから、地域・関係各課との調整を図りながら進めていく。
	【地域資源活用講座事業】 地域の資源等を活用した講座については、引き続き新型コロナウイルス対策を行いながら開催する。アンケートを実施し、要望等を取り入れながら、内容の見直し等を行い、積極的に講座を実施していく。
	【公民館整備】 ①優先順位を検討しながら計画的な施設整備を行う。 ②常に施設管理を的確に行い、施設利用者の利便性を図っていく。

教育行政 評価委員 による意見	・コロナ対策を講じて引き続き実施をお願いします。 ・公民館の整備件数増を目指してほしい。担当課だけの方針で進めるのではなく公民館と話し合い優先順位を決定してほしい。
-----------------------	---

## 教育委員会施策の点検・評価書(令和3年度事業)

担当課 スポーツ振興課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	夢と生きがいをもって活躍するひとづくり
	基本施策	スポーツ・レクリエーション活動への支援
		(1)生涯学習活動機会の充実 (2)施設の充実と有効活用
施策の概要	・市民が年齢や体力に応じてスポーツ・レクリエーション活動に積極的に参加し、楽しむことができるよう各種事業を推進。 ・老朽化したスポーツ施設について、緊急性の高いものから計画的に改修。	

施策に対する 事務事業の 概要・成果・ 評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	ジュニア競技能力向上事業	・運動に関する専門的知識を有する指導者によって、子どもたちが運動の楽しさを体験し、体を使った遊びに意欲的に取り組むとともに、教諭が日常の園生活での指導について研修する機会として実施する。	○公立幼稚園(4園)保育園(2園)、認定こども園(4園)において各園3回実施(計26回) ※新型コロナ蔓延防止等重点措置期間中の4回は中止 ○回数を重ねるごとに子供たちは、積極的に取り組むようになり、マット運動や鉄棒など要望に伴い指導教諭に対してもアンケート結果から参考になったとの回答を得ている。	A	A
	スポーツ施設整備 (新総合体育館整備事業)	・現市民体育館の老朽化等に伴い、新たな総合体育館を山吹運動公園内に整備する。	○新総合体育館基本設計業務委託(繰越)にて、基本的な設計図書(配置、平面等)の作成 ○新総合体育館地質調査業務委託 新総合体育館基礎の検討のため地質調査を実施 ○新総合体育館整備費用対効果分析業務委託 費用便益比(B/C)を算出し、事業を実施する効果の分析	A	A
	スポーツ施設整備 (運動公園整備事業)	・スポーツ施設の計画的な改修を行い、安全安心に使えるよう維持管理に努める。	○白羽スポーツ広場スポーツトラクター購入 ○大里ふれあい広場野球場一塁側ウォーミングアップエリア整備工事 ○海洋センター高気圧中負荷開閉器取替修繕	B	A

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	R1	R2	R3	担当課 評価	委員会 評価
	ジュニア競技能力向上事業参加者数(延べ人数)	708	1,431	954	A	A
	スポーツ施設利用者数(人)	259,561	84,272	100,861	A	A

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価	○		
委員会評価	○		

課題と 今後の方向	<b>【ジュニア競技能力向上事業・スポーツ施設整備】</b> 市民のライフステージに応じ、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽に楽しくスポーツ・レクリエーションに親しめるよう環境整備を進める必要があり、2019年3月に策定した「常陸太田市スポーツ推進計画」に掲げた以下の3つ項目を柱として各種施策に取り組んで行く。 ①子どもたちが将来にわたってスポーツを楽しむための能力と心身の育成を図るための「子どものスポーツ活動の推進」 ②高齢者や障がい者などが年齢や体力等に応じた生涯スポーツ活動と健康増進に取り組むための「スポーツを通じた健康増進」 ③利用者が常に安心安全で、快適に活動できるための「スポーツ施設の整備を適切に管理」
--------------	---

教育行政 評価委員 による意見	・幼少期より専門的知識を有する方から指導を受けるのは有意義。 ・新総合体育館には、大きな期待をしています。課題と今後の方向性に記載されていることを実現できるよう進めてもらいたい。 ・ラジオ体操の防災行政無線での放送は、苦情が出ない時間帯を担当課と調整して実施してほしい。
-----------------------	---

## 教育委員会施策の点検・評価書(令和3年度事業)

担当課 教育総務課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	夢と生きがいをもって活躍するひとづくり
	基本施策	結婚・定住の促進
		(1)移住・定住の促進
施策の概要	・UIJターン者への支援。	

施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
		移住・定住者への奨学資金 返還助成制度	助成対象者に当該年度に返 還した奨学資金の全額、ある いは1/2以内の額を助成す る。	奨学生のうち市内定住者やUターン者に とっては、負担の軽減につながり、有効な 施策に結び付いている。	B

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	R1	R2	R3	担当課 評価	委員会 評価
		奨学資金返還助成制度を利用した転入者数	4	7	7	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	<p>【移住・定住者への奨学資金返還助成制度】</p> <p>①チラシや大学窓口を活用して対象者や保護者へのDMの送付など、本制度の周知と利用拡大を積極的に進める。</p> <p>②事業対象者の利便性向上及び事務の効率化を踏まえた制度設計の見直し。</p>
--------------	--

教育行政 評価委員 による意見	・次年度よりの制度変更は、借りる側からするとありがたい。制度変更後の利用者増を大いに期待しています。
-----------------------	--

## 教育委員会施策の点検・評価書(令和3年度事業)

担当課 文化課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	地域の特性を活かしたコミュニティづくり
	基本施策	市民の地域活動への支援
		(1)地域コミュニティへの支援
施策の概要	・エコミュージアム活動を通じて、潜在的な地域のお宝(地域資源)を発掘し、地域資源の利活用を図ることにより、地域の良さや誇りと愛着心を育む。	

施策に対する 事務事業 の 概要・成果・ 評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	エコミュージアム活動の 推進		・自分たちの住んでいる地域にある自然や歴史、文化資源等を確認し、地域の魅力を再認識する「わがまち地元学事業」への取組を支援する。	・「わがまち地元学事業」の取り組みは、地域内を住民同士が探索し地域の良さを再認識するとともに、地域の将来像を話し合うことで、地域への愛着意識の向上と住民同士の交流が図られる。令和3年度は5地区(継続3、新規2)の実施を予定していたが、前年に引き続きコロナ禍であったことから、継続地区については手法を変えることで実施することができたが、新規地区については延期となってしまったため、前述した成果を十分にあげることはできなかった。	B
		・地域資源等を活用した、地域活動(交流事業等)を推進、支援する。	・「わがまち地元学事業」の取り組みを契機とした地域が主体となった地域活動については、10事業に取り組み予定であったが、コロナ禍により3事業の実施にとどまってしまう、地区内外の参加者やボランティア等との交流や、地域活動の活性化に十分につなげることはできなかった。		

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	R1	R2	R3	担当課 評価	委員会 評価
		「わがまち地元学事業」実施地区数:累計	33	33	33	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元学実施地区については、次のステップとして、地域資源の整備やそれらを活用した地域活動への取組が図られるよう、地域訪問や説明会による推進を行う。</li> <li>・すでに地域活動を行っている地域については、自立した活動を目指し地域コミュニティへの事業移行も含めて協議検討する。</li> <li>* 地域へのアプローチや支援方法について、新型コロナウイルス感染状況に応じ、適宜、修正・変更していく必要がある。</li> </ul>
--------------	--

教育行政 評価委員 による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において新規地区がないことは致し方ないが、新規地区実施のための推進は、継続して行っていただきたい。</li> <li>・地域主体活動継続のための取組にも、力を入れていただきたい。</li> </ul>
-----------------------	--

## 教育委員会施策の点検・評価書(令和3年度事業)

担当課 教育総務課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	暮らしやすく楽しむことのできるまちづくり
	政策	安心・安全なまちづくり
	基本施策	犯罪のないまちづくり
		(1)子どもの安全対策
施策の概要	・登下校時の安全対策を強化します。	

施策に対する 事務事業の 概要・成果・ 評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
		子供の安全対策強化	登下校時の児童生徒の安全を確保するため、地域子ども安全ボランティアの登録推進及び通学路危険箇所の安全点検を実施	地域子ども安全ボランティアによる登下校の見守り運動及び警察・道路管理者等の関係機関による通学路の危険箇所改善により、子どもの安全確保が図られた。	B

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	R1	R2	R3	担当課 評価	委員会 評価
	地域子ども安全ボランティア会員数(人)	612	600	529	B	B
	「子どもを守る110番の家」設置数	489	379	372	A	A
	危険箇所改善数(件)	49/86	63/70	41/55	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	<p>【子供の安全対策強化】</p> <p>「地域子ども安全ボランティア」及び「子どもを守る110番の家」の地域住民等による安全対策は、高齢化のため登録数が減少傾向にある。また、警察及び道路管理者等の関係機関と連携を図り、通学路における危険箇所対策要望箇所の対策を速やかに行い、児童生徒の安全確保が重要である。</p>
--------------	---

教育行政 評価委員 による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの高齢化率上昇は致し方ないが、要望危険箇所の対策をお願いします。大変でもボランティア会員増を目指してください。</li> <li>・ボランティア登録者数減の対策をお願いします。</li> <li>・道路管理対策の草刈において、看板・標識が視認できるようお願いします。</li> <li>・通学路のマムシ対策もお願いします。</li> <li>・危険箇所改善件数の未改善となっているものの精査(件数の捉え方の精査)</li> </ul>
-----------------------	---

## 参考 教育委員会の活動状況

### 1 教育委員会教育長・委員について

本市教育委員会は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、市長が市議会の同意を得て任命した教育長と4名の委員により構成されている。

常陸太田市教育委員会委員 [ 令和4年3月31日現在 ]

職名	氏名	任期
教育長	石川 八千代	令和2年4月1日から令和5年3月31日まで
委員 (教育長職務代理者)	中村 和幸	平成29年10月5日から令和3年10月4日まで
委員 (教育長職務代理者)	岩間 敦子	令和3年4月1日から令和7年3月31日まで (令和3年10月5日から令和7年3月31日)
委員	小澤 和彦	令和3年10月5日から令和7年10月4日まで
委員	谷下田 幹子	平成31年4月1日から令和5年3月31日まで
委員	萩谷 浩司	令和2年4月1日から令和6年3月31日まで

### 2 教育委員会の活動状況について

定例会、臨時会など、令和3年度における本市教育委員会の主な活動状況は、次のとおりである。

年月日	出席委員数	件名
令和3年4月1日	5名	協議会 ・教育委員会事務局職員紹介 ・令和3年度市立小学校入学式の出席について
令和3年4月21日	5名	定例会 ・峰山中学校区小学校並びに金砂郷中学校区小学校の統合による新小学校の校名について ・常陸太田市奨学生選考審査会委員の委嘱等について ・常陸太田市学校事務共同実施グループに係る中心校と連携校の指定について ・常陸太田市学校事務共同実施グループ事務長の任命について ・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について ・令和3年度教育委員会主要事業の概要について
令和3年5月26日	4名	定例会 ・常陸太田市立小中学校設置条例の一部改正について

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸太田市学校防災推進委員会設置要綱の一部改正について</li> <li>・常陸太田市奨学生選考審査会委員の委嘱等について</li> <li>・常陸太田市社会教育委員の委嘱について</li> <li>・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について</li> <li>・常陸太田市立図書館協議会委員の任命について</li> </ul>
令和3年6月24日	4名	<p>定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸太田市立小中学校通信機器貸与事業実施要項の制定について</li> <li>・常陸太田市学校施設整備検討協議会設置要項の制定について</li> <li>・常陸太田市障害児就学指導委員会委員の委嘱について</li> <li>・常陸太田市スポーツ推進委員の委嘱について</li> <li>・令和3年第2市議会定例会（6月定例会）一般質問要旨及び答弁要旨について</li> </ul>
令和3年7月20日	4名	<p>定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸太田市学齢児童生徒の就学すべき学校指定に関する規則の一部改正について</li> <li>・常陸太田市修学旅行取消料補助金交付要項の制定について</li> <li>・令和3年度使用小・中学校教科用図書採択について</li> </ul>
令和3年8月20日	5名	<p>定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸太田市コミュニティ・スクール推進委員の委嘱及び任命について</li> <li>・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について</li> </ul>
令和3年9月15日	5名	<p>定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸太田市教育情報セキュリティポリシーについて</li> <li>・令和3年第3市議会定例会（9月定例会）一般質問要旨及び答弁要旨について</li> </ul>
令和3年10月5日	5名	<p>臨時会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員の学校訪問について</li> </ul>
令和3年10月28日	5名	<p>定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸太田市修学旅行取消料補助金交付要項の一部改正について</li> <li>・世矢幼稚園、久米幼稚園の今後について</li> </ul>

令和3年10月19日	5名	学校訪問 すいふこども園、水府小中学校
令和3年10月27日	5名	学校訪問 久米幼稚園、久米小学校、久米中学校
令和3年10月29日	5名	学校訪問 里美小中学校
令和3年11月12日	5名	学校訪問 郡戸小学校、金砂郷小
令和3年11月18日	5名	定例会 ・令和3年度（平成2年度対象）教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について ・小学校統合に係る進捗状況について
令和3年12月25日	5名	定例会 ・令和3年度常陸太田市一般会計補正予算（第8号）（教育費関係）の編成に対する意見の専決について ・新総合体育館整備基本設計業務選定に係るプロポーザル審査結果について
令和4年1月28日	5名	定例会 ・常陸太田市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について ・常陸太田市立図書館図書宅配サービス実施要項の一部改正について
令和4年2月28日	4名	定例会 ・常陸太田市高倉交流センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例に意見について ・令和4年第1回市議会定例会一般会計予算案（教育費関係）の編成に対する意見について ・令和4年度からの市立小中学校の2学期制の本格導入について ・常陸太田市学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の導入について ・令和3年度市立中学校卒業式の出席について
令和4年3月11日	5名	市内中学校卒業式
令和4年3月16日	5名	臨時会 ・県費負担教職員の任免等の内申について

令和4年3月16日	5名	<p>定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年常陸太田市一般会計補正予算（第13号）（教育費関係）の編成に対する意見の専決について</li> <li>・常陸太田市立学校運営協議会規則の制定について</li> <li>・常陸太田市立学校事務処理補助金交付要項の制定について</li> <li>・常陸太田市教育委員会事務局組織規則の一部改正について</li> <li>・常陸太田市立学校管理規則の一部改正について</li> <li>・常陸太田市立学校処務規定の一部改正について</li> <li>・常陸太田市立学校職員の自家用車の校務利用に関する取扱要項の一部改正について</li> <li>・常陸太田市高倉交流センターの設置及び管理に関する条例施行規則の廃止について</li> <li>・常陸太田市スポーツ大会出場補助金交付要綱の一部改正について</li> <li>・行政手続きにおける押印のお見直しに伴う関係規則等（教育委員会）の整備について</li> <li>・学校歯科医の委嘱について</li> <li>・学校薬剤師の委嘱について</li> <li>・常陸太田市公民館主事の任命について</li> </ul>
<p><b>令和3年度 教育委員会の会議開催状況</b></p> <p>1 開催回数 16回（定例会12回、臨時会3回、協議会1回）</p> <p>2 議案件数 37件</p> <p>3 報告件数 3件</p> <p>4 選挙件数 0件</p>		

令和4年度（令和3年度事業）  
教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価に関する報告書

令和4年12月  
常陸太田市教育委員会